

青森県景気ウォッチャー調査特別調査（令和4年4月期）

新型コロナウイルス感染症による県内の景気への影響に関する調査について

1. 概要

新型コロナウイルス感染症が世界的に流行し、国内外の社会経済や、本県の地域経済及び県民生活に大きな影響を与えていることを踏まえ、新型コロナウイルス感染症が県内の景気に及ぼす影響について、青森県景気ウォッチャーを対象に特別調査を行った。

2. 調査期間

令和4年4月1日～4月19日 回答率 98%

3. 調査事項

設問	回答方法
①新型コロナウイルス感染症拡大による現在の景気への影響に対する判断	5段階（非常に影響があった／どちらかといえば影響があった／どちらとも言えない／どちらかといえば影響がなかった／まったく影響がなかった）
①の理由	自由記述
②新型コロナウイルス感染症による3カ月後の景気への影響に対する判断	5段階（非常に影響がある／どちらかといえば影響がある／どちらとも言えない／どちらかといえば影響がない／まったく影響がない）
②の理由	自由記述

令和4年4月

青森県企画政策部統計分析課

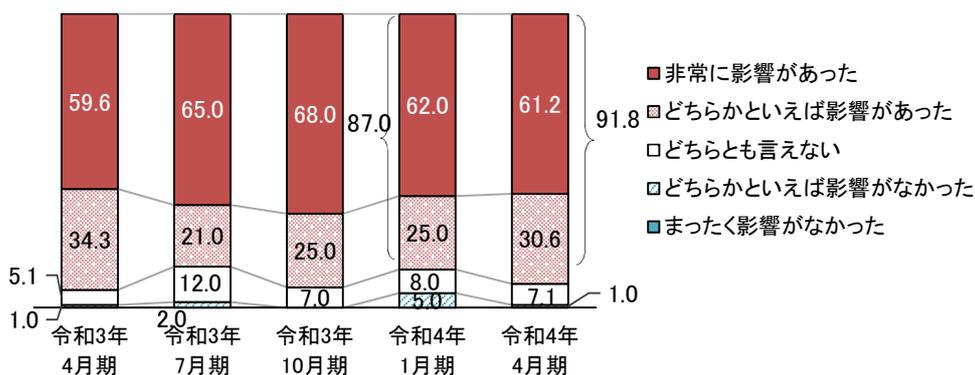
(1) 新型コロナウイルス感染症拡大による現在の景気への影響

① 県全体の動向

県全体をみると、「非常に影響があった」との回答が61.2%と最も多く、「どちらかといえば影響があった」との回答と合わせると91.8%となった。「どちらとも言えない」との回答は7.1%、「どちらかといえば影響がなかった」との回答は1.0%、「まったく影響がなかった」との回答はなかった。

前期調査と比べると、「非常に影響があった」「どちらかといえば影響があった」との回答が合わせて4.8ポイント上昇した。

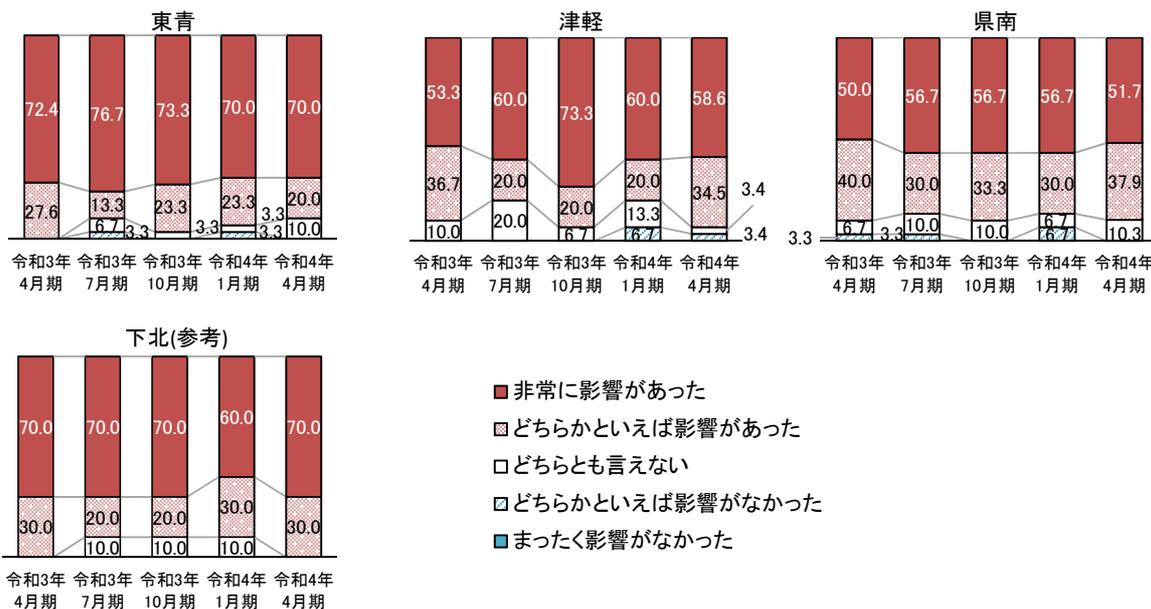
新型コロナウイルス感染症拡大による現在の景気への影響
回答別構成比(県全体)(%)



② 地区別の動向 (※下北地区については、サンプル数が少ないため参考値)

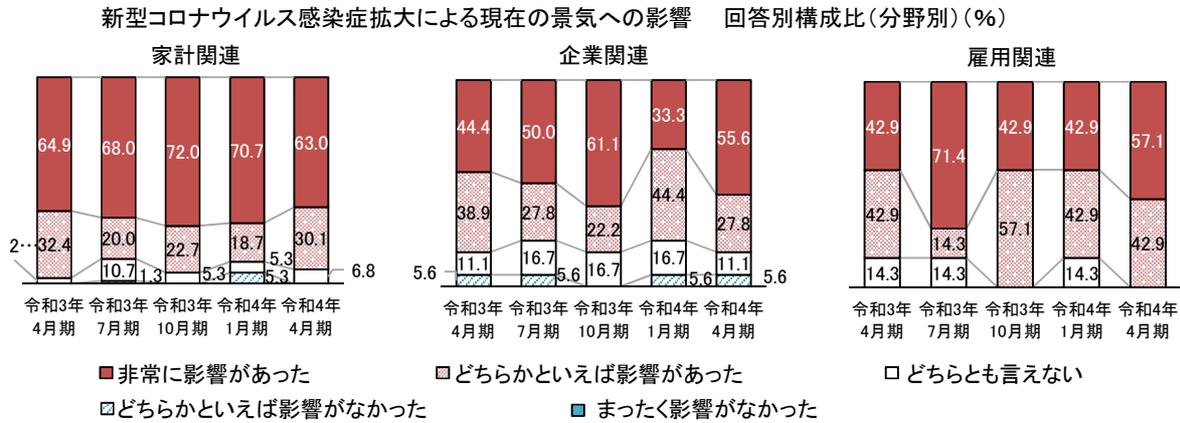
地区別にみると、全地区とも、「非常に影響があった」との回答が最も多くなった。「非常に影響があった」と「どちらかといえば影響があった」とを合わせると、東青を除く3地域で前期調査と比べて割合が上昇し、津軽においては13.1ポイント上昇した。

新型コロナウイルス感染症拡大による現在の景気への影響 回答別構成比(地区別)(%)

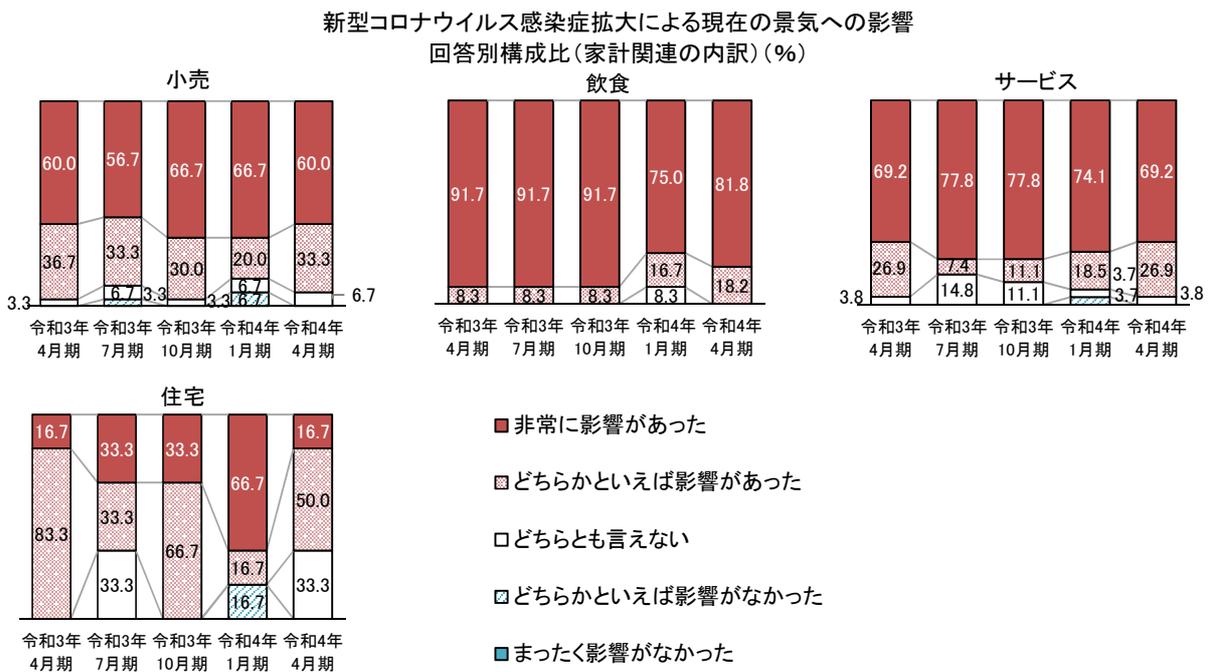


③ 分野別の動向

分野別にみると、家計関連で「非常に影響があった」との回答が最も多くなっており、「どちらかと言えば影響があった」と合わせた割合は前期調査と比べて全分野で上昇した。



家計関連の内訳をみると、小売、飲食、サービスでは「非常に影響があった」との回答が最も多くなっており、住宅では「どちらかといえば影響があった」が最も多くなった。



④ 判断理由

判断理由では、「影響があった」理由として、「人が動かないと売上は下がる一方(コンビニ=津軽)」、「コロナ拡大以降イベント等も開催できていない(飲料品製造=県南)」など、外出の減少やイベント等の中止により売上・客数が減少し、消費や経済活動の停滞が続いているとの声が多かった。また、津軽地域においては、「まん延防止により来客数の減少(百貨店・スーパー=津軽)」など、今年1月から3月にかけて適用されたまん延防止等重点措置の影響を挙げる声もあった。「どちらとも言えない」理由としては、「新入学や異動など時節に絡んだ購買はコロナに関係なく堅調(一般小売店=東青)」などの声があった。

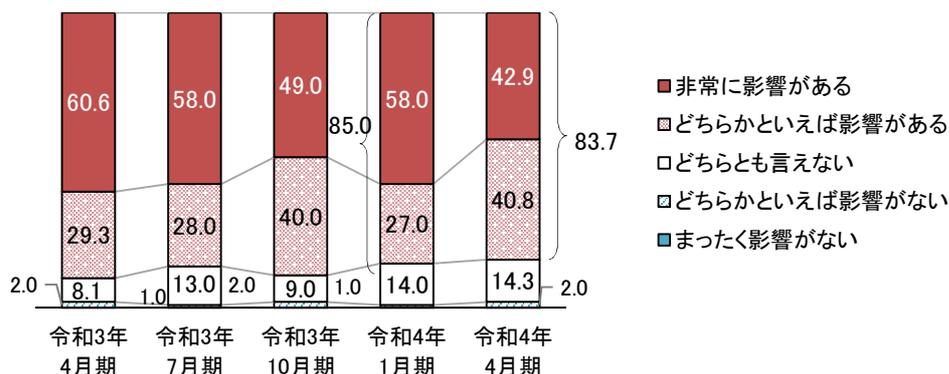
(2) 新型コロナウイルス感染症による3カ月後の景気への影響

① 県全体の動向

県全体をみると、「非常に影響がある」との回答が42.9%と最も多く、「どちらかといえば影響がある」との回答と合わせると83.7%となった。「どちらとも言えない」との回答は14.3%、「どちらかといえば影響がない」との回答は2.0%、「まったく影響がない」との回答はなかった。

前期調査と比べると、「非常に影響がある」「どちらかといえば影響がある」との回答が合わせて1.3ポイント低下した。

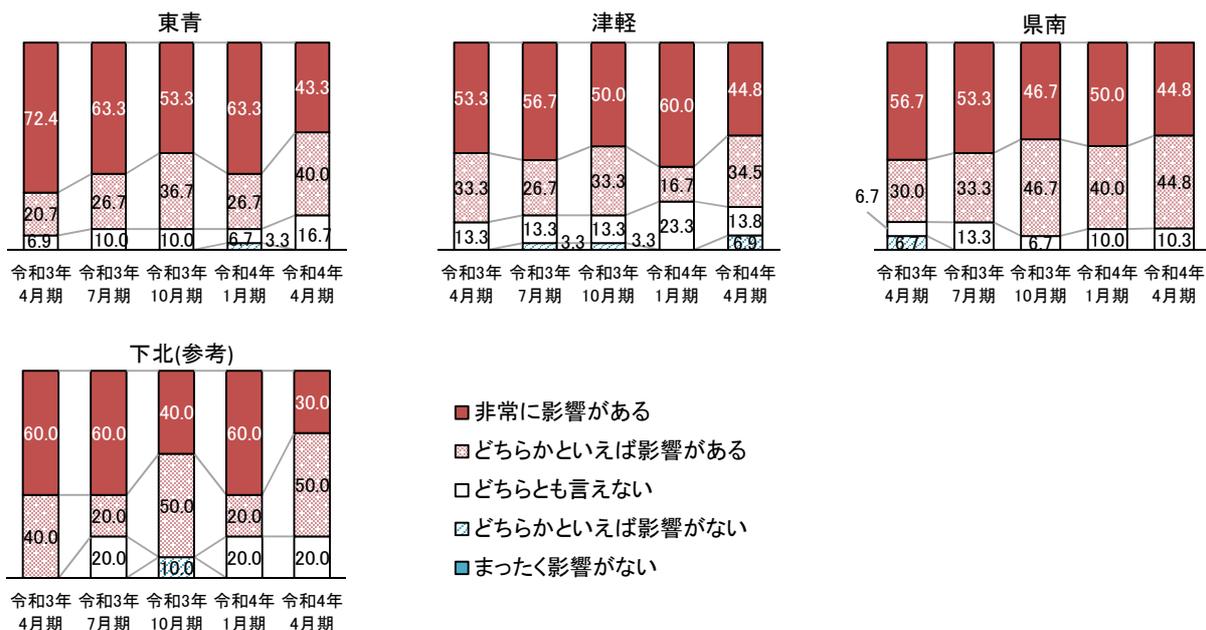
新型コロナウイルス感染症による3カ月後の景気への影響
回答別構成比(県全体)(%)



② 地区別の動向 (※下北地区については、サンプル数が少ないため参考値)

地区別にみると、全地区において「非常に影響がある」との回答割合が前期調査と比べて低下し、「どちらかといえば影響がある」との回答を合わせた割合は、全地区で横ばいもしくは低下となった。

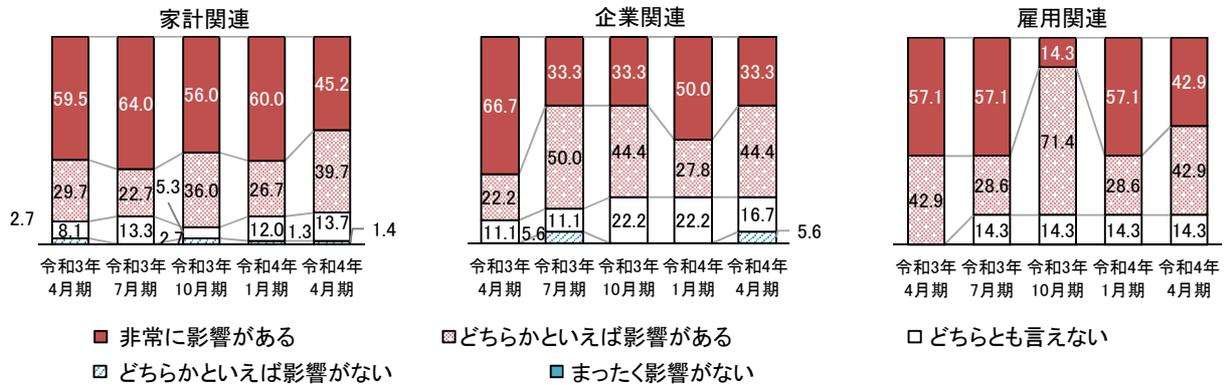
新型コロナウイルス感染症による3カ月後の景気への影響
回答別構成比(地区別)(%)



③ 分野別の動向

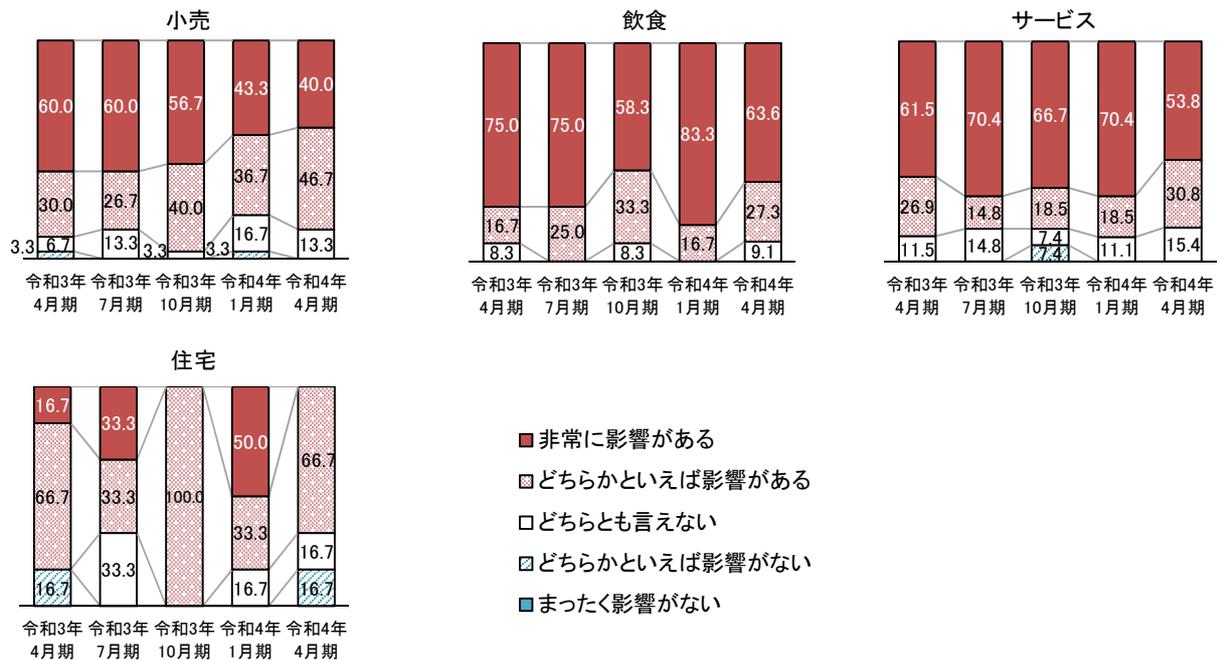
分野別にみると、全分野で「非常に影響がある」の回答割合が前期に比べ低下したが、家計関連、雇用関連では「非常に影響がある」、「どちらかといえば影響がある」の回答が前期に続き80%を上回った。

新型コロナウイルス感染症による3カ月後の景気への影響
回答別構成比(分野別)(%)



家計関連の内訳をみると、いずれも「非常に影響がある」の回答割合が前期に比べて低下し、住宅は「非常に影響がある」との回答がなかった。

新型コロナウイルス感染症による3カ月後の景気への影響
回答別構成比(家計関連の内訳)(%)



④ 判断理由

判断理由では、「影響がある」理由として、「コロナ感染者が減らないと景気は回復しない(スナック=津軽)」など、感染者数の増加が景気回復を妨げているとの声が多く挙げられた。また、「一旦、収束すると思うがGW明けまた感染拡大が予想される(新聞社求人広告=県南)」など、連休中の人の移動で感染拡大がさらに進むことを懸念する声もみられた。「どちらとも言えない」理由としては、「コロナワクチン接種の増加により外出が増える傾向にあるが蔓延規模の拡大等まだまだ不安定(百貨店・スーパー=下北)」などの声があった。また、「コロナに加えてロシア問題がエネルギー、資材調達に大きな影響をもたらす(建設=東青)」など、ロシアのウクライナ侵攻による影響が、感染拡大による経済的影響にさらに拍車をかけるとする声もあった。

(3) 判断理由

① 新型コロナウイルス感染症拡大による現在の景気への影響

現在の影響	分野	地区	業種	理由
非常に影響があった	家計	東青	百貨店・スーパー	コロナ罹患者が一気に増えた1月以降、肉食需要が高まった。まとめ買い、食材の購入の需要が増加した。 客足が遠のいている。特に衣料品。
			タクシー	何度も書いてきた事ですが、比較的影響を受けにくかった業種も確かに存在するものの、旅行業・宿泊業・飲食店業・そして私共のような道路運送業、特に日常・ビジネス・レジャー・各種行事も含む人の移動に関連する業種はだらだらと続くコロナ禍の悪い影響をともに受け続けざるを得ない環境が続いているためです。完全にコロナ以前の状態に戻ることはもう絶対にあり得ないとは思いますが、せめて8割方程度迄は回復できるようなスケジュール感がまるで見えてこない、毎日が地獄のような状態です。
			娯楽業	高齢者のお客様が離れている事と、夜間仕事をして日中時間に余裕のある人達が少なくなっています。 (感染)拡大防止対策として施設の閉鎖となった。
			衣料専門店	毎回の回答で承知の通り行動規制による売り上げ減少です。
			一般飲食店	店での売上げを上げる術は宴会などの人の集いであったので、そういった需要が悉く無くなり、対応した種々のランチ営業、デリバリーではそれまでの売上げには到底届くこともなく、たいへん厳しい営業を余儀なくされています。
			卸売業	業務用酒類の売上が激減している。
			家電量販店	コロナ禍での生活により、マスクや消毒液等の衛生用品や、在宅時間増加によるDIYや園芸、家具家電の買い替えなどの需要が大幅に増幅しました。2021年度以降、当該需要は落ち着きつつあります。
			観光名所等	行政指導で臨時休館となったし、来館者も激減した。
			都市型ホテル	業種的に人の動きを抑制する政策により、大きな影響を受けるため。
			旅行代理店	昨年同様仕事がない。
			スナック	勿論影響があります。今回飲食店はコロナの話題を身に致しません。皆様、大分気をつけてますね。それでもお店は厳しく暇で悩んでいます。
			商店街	顧客マインド、イベントの規模や形態、またイベント自体の有無、日々の暮らしぶりの変化による行動範囲や購買行動の変化などなど、よいこと、悪いこと、ともかく全分野において、多大な影響があった。
			レストラン	ようやく、長い冬が終わり、これから春が来ると……コロナが、へらない!!
		コンビニ	回りは会社等が多いのでリモートが多い為。	
		津軽	レストラン	まん防などにより休業した為。
		一般小売店	当店は化粧品の小売業と絡み合わせて、フェイシャルエステをしているが、コロナ感染拡大により、接触を避けるためエステを休止してきたため、かなり売上が落ち込んでいる。	

現在の影響	分野	地区	業種	理由
非常に影響があった	家計	津軽	衣料専門店	結婚式やスーツを着る機会が減ったから。
			観光名所等	ウクライナ・ロシア戦争の状況によりガソリン・燃油・はもとより各種物価、運賃や小麦などはもとより包装資材段ボールなど値上がり著しい。地域銀行の統合、宮城・福島 沖震度6強、東北新幹線脱線、航空各社増便、空港利用者増加？
			商店街	近場の駐車券を販売しているが、コロナが流行してから売れ行きが50%近く下がった。飲食店がやっていないと、人は外に出なくなり、近くの小売り店にも人が来なくなる。外国からの輸入がスムーズに進まなくなり、工事に時間がかかる。
			都市型ホテル	期待していた県民割(おでかけキャンペーン)も中止となり、3月かき入れ時の宴会、宿泊がほぼキャンセルとなった。
			コンビニ	人が動かないとコンビニは売上は下がる一方。
			百貨店・スーパー	まん延防止により来客数の減少。また滞在時間の短さがあらわれていたため。
			設計事務所	老人福祉施設等は感染に対して特に注意をしておりますので建築等の計画を中止または延期というケースが多いです。
			スナック	蔓延防止等重点措置で営業出来なかった。
	県南	タクシー	影響があったなんてもんじゃない、コロナのお陰で街が壊れてしまう。日を追って街に人が出てこなくなる。夕方のテレビの感染者数の発表を確認して、それから行動を考えると云う感じ。予防接種をしているとはいえ、安心して行動している感じではない。私たちの町でも老舗の大型店が閉店した。これも相当な部分コロナの影響だろう。	
		衣料専門店	当店は「ファッション」「ギフト」を特徴にしていますので、「ハレの場」や「イベント」「旅行」等が制限される新型コロナウイルス感染症の対策には、大変影響があったと感じている。	
		卸売業	閉店する取引先が多かった。そのため弊社の売り上げも減り、ボーナスが出なかった。	
		百貨店・スーパー	対応にてんやわんやです。職場や家族の人間関係の悪化まで招いてしまう非常事態です。	
		旅行代理店	旅行業なのでご存知のとおりです。	
		ガソリンスタンド	経済活動に大きな制約を感じることから、コロナ禍前のような自由な往来、会食等を控える行動様式とならざるを得ないことから、商品の販売への影響も大きいものがあった。	
	津軽	県南	レストラン	感染対策をいくら実施していても、コロナ感染者が増えると、飲みに出るお客様が減少してしまいます。原材料の高騰により価格改定で値上げ。経費もかかり、売上げにつながる市街でのイベントもなくなり大型店舗もなくなり、経済がどのようにまわっているのだろうか。
			商店街	食事やレジャーを含めて全ての様式が変わってしまった。
			下北	コンビニ
都市型ホテル				売上が、まったく回復しない。

現在の影響	分野	地区	業種	理由	
非常に影響があった	家計	下北	タクシー	幼稚園・小学校でのクラスターが多発し、親・祖父母の自宅待機が増えて、会社の乗務員も数名待機時間が有りました。定期便の送迎を休む訳にはいかず、余裕がない人員の中でのやりくりが非常に苦しかった。 (同業他社に送迎を代行してもらいました)非常事態が続いて、危機感を感じる日々が長かった。	
			百貨店・スーパー	感染蔓延により外出時間の短縮・外出機会の減少により新たな衣料等外出用品の買い控えが進んでいる。	
	企業	東青	経営コンサルタント	今年に入ってから県内で3回目のワクチン接種が始まっているが、新型コロナへの感染者は、多い時は400人～600人に推移しており、10万人当たりの感染者数は全国で8番目となった時もあり、自粛ムードは強まるばかりである。販売活動に影響があり、景気に多大な影響があったと考えられる。	
			広告・デザイン	様々な物が中止になったため。	
		津軽	経営コンサルタント	人の移動が大きく変わったと思っている。具体的には、人を集めて行う研修会・セミナー（県外だと東京や仙台など）がほぼZoom等によるオンラインに代わってしまった。一参加者としては、参加費が安くなり交通費や宿泊費、外食費等がかからず大いに節約になったが、言い換えれば関連業者の売り上げは減っていることになる。顧問先ともしばらくの間として電話やメールのやり取りに変更となったまま2年が過ぎてしまった事業所も少なくない。	
			広告・デザイン	経済が全く低迷しており、企業業績が悪化している企業ばかりに感じる。	
		県南	飲料品製造	飲食を伴う大規模な会合は行われなくなり、また飲食店での会食も激減、消費も激減が続く。業界としても2年前のコロナ拡大以降試飲イベント等情報発信事業なども開催できていない。	
			広告・デザイン	コロナ禍になり3年目、イベント中止、広告の自粛が続く、最近は多少仕事は動いているが、コロナ前に比べれば全く厳しい売上状況が続いている。	
			食料品製造	外食関連からの注文が激減した。	
			経営コンサルタント	観光業においては、感染拡大による、おでかけキャンペーン利用停止により、宿泊者数がかなり減少し、売上が激減した。	
			下北	食料品製造	コロナ、3回目の春を迎えました。私もそうですが、皆様も疲れてきているのでは。
		雇用	東青	新聞社求人広告	人の移動の制限、さまざまな自粛、など多岐にわたります。
	津軽		新聞社求人広告	今年に入ってまん延防止等重点措置が2度延長された市では、料飲店をはじめ観光関連の業種が打撃を受けた。	
	県南		新聞社求人広告	イベントの中止や半導体不足等の影響が出ている業種からの広告が減少しているため。	
どちらかといえば影響があった	家計	東青	住宅建設販売	来場数・商談数が、コロナの影響で減少している。顧客の感染・濃厚接触者により、商談の先延ばしも増加している。	
		美容院	非常までとはいかないですが接客業にはかわりないので、お客様とお客様との間は充分とっているつもりです。		

現在の影響	分野	地区	業種	理由	
どちらかといえ ば影響があった	家計	東青	乗用車販売	法人の購入が見送られるケースが多かった為。	
			津軽	乗用車販売	消費の停滞により日常消費以外が影響を受けている。
			住宅建設販売	営業活動(面談打合せやイベント開催など)が制限を受けた為。	
			ガソリンスタンド	外出行動自粛の規制から解除になったものの未だ実感が無い。	
			美容院	第6波がいちばん営業に影響が出た。警戒心から予約の先延しが多かった。	
			家電量販店	生活やその過ごし方は、コロナの感染者数にリンクし世界中が多様に変化している。そのスピードの速い変化に商品開発や販促提案の展開スピードにタイミング的ズレを感じる。	
		県南	設計事務所	建築計画が中止または延期している。	
			一般飲食店	飲食なので、ストレートに客の増減につながる。	
			百貨店・スーパー	職場から罹患者が発生すると、売上・客数ダウンは避けられない。	
			コンビニ	外出意欲の喪失と購買意欲の減少。	
	一般小売店		多くの会合がWEBに切り替わり、飲食→2次会の流れは無くなり、買物も宅配利用が増え、街でブラブラする人は大きく減少した。		
	家電量販店		従業員の家族、本人などの感染者が増え、休みの人員が増えた。		
	下北	ガソリンスタンド	観光客や出張の車が減っているようで、ガソリンの数量が落ち込んでいるようです。		
		一般飲食店	街に人出がなくなりお客の出入りも減少済みです。		
	企業	津軽	食料品製造	原材料が入荷して来ない。	
			紙・パルプ製造	テレワーク拡大によるペーパーレス化の加速。観光事業等の停滞によるパンフレット等の需要減。	
県南		電気機械製造	人の往来が減り、深入りした話や将来の話題ができていない。web会議では話せないこともあり徐々にビジネスが停滞していつている。		
		建設	住宅設備機器の品薄、納期未定や遅れなど、建築工事の進捗に影響がでている。さらに資材価格の高騰により、当初の見積金額と差違が大きくなっていて利益確保が難しくなっている。		
どちらとも言え ない	家計	東青	一般小売店	新入学や異動など時節に絡んだ購買はコロナに関係なく堅調であった。	
			設計事務所	不要不急の生活スタイルが定着しており一見当たり前のよう生活及び行動がなされているように見受けられる。その状態でも知恵を出して人との出会いや交流が行われている事を感じます。	
		県南	観光名所等	コロナ感染での売上等の実績はさほど悪いようには思われないため。	
			住宅建設販売	顧客の二極化が進んだように思います。安定収入のある顧客が増加し、飲食関係などコロナで影響が大きかった業種の顧客が減少した。	
	企業	東青	建設	他国のロックダウンによる資材不足の影響は大きかったと言える。	
		津軽	電気機械製造	弊社で扱っている部品に於いては現段階では然程影響は受けていないが先行きは不透明なため。	

② 新型コロナウイルス感染症による今後の景気への影響

今後の影響	分野	地区	業種	理由
非常に影響がある	家計	東青	一般飲食店	当初の得体の知れない未知のウイルスだった時と比べ色んなことが解ってきているはずなので、もちろん予防はしながらも積極的に経済活動が行われていくよう、国、県、市など連携してこの国の未来をつくっていくよう引っ張って下さい。
			一般小売店	3月4月の異動期を経てGWはどうなるのか？またGWの人の移動を受けその後のコロナ禍はどのように推移するのか。正にウィズコロナの中、3年目の春、そして夏に向け、行政がどのような策を採るかが景気に大きな影響を与えようと思う。
			観光型ホテル・旅館	県や各市が毎日の感染者数を発表するのが恒例となっているが、すでに感染者数は重要なデータでないのではないかと。また、行政や大企業等で毎日の感染報告をして、マスクが取り上げること自体も既に重要でなくなっているのではないかと。ウィズコロナを見据えて、経済回復にもっと大きく舵を切りたいと思います。県またぎの往来自粛を呼びかけるのも、もうやめませんか？
			都市型ホテル	業種的に人の動きを抑制する政策により、大きな影響を受けるため。
			スナック	最近、お客様は諦めてます。つまりマンネリ化です。
			レストラン	感染者が減らないかぎり無理!!
			コンビニ	県外からのお客様があまり増えるとは思わない。
			商店街	これまでもさまざま大きく影響があったが、3回目接種時期を迎えていまだコロナウイルス対応について、冷静で客観的な対策が示されていない。したがって、今後も感染者数の増減に一喜一憂し、それにより顧客マインドは左右され、都度大きく影響が出ることは必至。かつコロナまん延後二年を超えて、地方では相対数上それほど極端に顕在化していなかった物流の滞りが、国内隅々まで大きく影響する段階に入っている。これらが解決するにしろしないにしろ、景気への影響は多大であろうと思われる。
		卸売業	コロナが落ちついてきても以前の様に売上が戻るとは思えない。(廃業等)	
		津軽	コンビニ	イベントが無くならない事を願うばかり。
			スナック	コロナ感染者が減らないと景気は回復しない。
			観光名所等	ウクライナ・ロシア戦争の状況によりガソリン・燃油はもとより各種物価、運賃や小麦などはもとより包装資材段ボールなど値上がり著しい。
			都市型ホテル	外出と集合を前提とする業種なため、明るい材料が見当たらない。
			レストラン	4月～5月のさくら祭り等の観光シーズンに、コロナの感染状況が悪化すると集客がなくなり非常に困る。
一般小売店	当店は化粧品の小売業と絡み合わせて、フェイシャルエステをしているが、コロナ感染拡大により、接触を避けるためエステを休止してきたため、かなり売上が落ち込んでいる。このままではジリ貧になるので、感染防止対策を徹底して、以前のようにエステと販売の相乗効果を図っていかねば、生き残れない。			

今後の影響	分野	地区	業種	理由
非常に影響がある	家計	津軽	衣料専門店	まだまだコロナ終息は難しそうだから。
			商店街	ブースター接種の効果は気休め程度にしか感じないから。
			ガソリンスタンド	ワクチン接種が進み、ウィズコロナの考え方もあるが、コロナウィルス感染者が、相当数減少する状況でなければ景気を上昇させることは難しいものと思う。
			タクシー	影響は大いにある。コロナ感染が下火になって来たなと思いきや、すぐ変異種が出て来て「いたちごっこ」。これではいつまでたっても気が休まる暇がない。
			娯楽業	早く減少・終息して、景気が上向く経済政策に期待したいです。
			卸売業	サービス業なので感染者数が減らない限り客足が戻らないため。
			レストラン	このまま外出行動の抑制や原材料、原油、エネルギー供給の不安定化や高騰を考えると、とても大きく景気に影響がでると思います。
			百貨店・スーパー	新型コロナウイルスの3回目のワクチン接種が進み、経済活動が活性化する可能性があるため。
			百貨店・スーパー	GW、屋外イベント、バーベQ、旅行、土産、父の日等、コロナ次第で客数や対応が変わる。
			旅行代理店	少しでも感染が拡大すれば行動を控えるのでまた影響を受けると思います。
	下北	都市型ホテル	ワクチン接種も必要だが、やはり治療薬が開発されなければ経済は停滞したままでしょう。	
		コンビニ	毎日、感染者の人数の発表。もう3年目です。やめてもらいたい。かなり敏感になって心身ともにやわになっている。	
	企業	東青	経営コンサルタント	3回目のワクチン接種が進んでくるとわれ、4回目のワクチン接種も検討されている。今後は変異株出現の影響が不安視されており、今後の景気に影響があり先行き不透明と考える経営者は多い。
			経営コンサルタント	年未年始で一旦新型コロナウイルスの感染者が落ち着いたあたりは、観光・宿泊も幾分戻って来たかにも見たが、その後の感染拡大によりまん延防止規制が3月20日まで続いたため、市内の飲食店は早い時間で閉店している店舗が多かった。やっと解除となったが、飲食店店主からは客の戻りは悪いとよく聞きます。さくら祭りは、「昨年の経験を踏まえ感染防止に努めて開催し、そのままねぶた祭りへ繋げたい」と市としては意気込んでいるが、これも感染状況によりまたどうにでも変わるのだろうかと思ってしまう。
津軽		経営コンサルタント	経済が回復する要素が無く、しばらくは全てが守りの状況が続くと思われる。	
		広告・デザイン	感染防止関係の移動制限などが解除されこれから通常な動きに戻ってくる雰囲気はあるものの、感染者数は高止まりしさらには一部感染拡大の報道もある。感染防止の観点から、大きな規模の飲食を伴う会合はまだ自粛であるだろうし、飲食店での飲食もなかなかもとに戻っていかないだろう。	
県南		飲料品製造	コロナ感染者数があまり減少しないまま、再度、増加すると、夜に出かける人が、更に減少し、コロナ融資の返済も始まり、売上を伸ばさないと、経営的に、飲食業は、かなり苦しい状況となることが予想される。	
		経営コンサルタント	コロナ感染者数があまり減少しないまま、再度、増加すると、夜に出かける人が、更に減少し、コロナ融資の返済も始まり、売上を伸ばさないと、経営的に、飲食業は、かなり苦しい状況となることが予想される。	

今後の影響	分野	地区	業種	理由
非常に影響がある	企業	県南	建設	重症化は少ないが、感染力の強いステルスオミクロンが猛威を振るってきており、自分の周囲にも感染者が多くなってきている。これまでの1年間の感染グラフをみると、蔓延防止解除後、GW、お盆、お正月、歓送迎会など各イベントが終わるたびに感染が増加していて、毎年同じ時期に増減を繰り返すグラフになっていて、おそらく本年も同じ形をとると予想される。
	雇用	東青	新聞社求人広告	徐々にでも経済を回復させる動きがでてくることを期待しているが、感染第7波の襲来、新たな変異株の出現、など、不安要素がまだまだあり、経済が好転するかどうか先行き不透明感が強い。
		津軽	新聞社求人広告	弘前市は今夏、弘前ねぶた300年祭を開催するが、新型コロナの感染再拡大で各地の夏祭りが中止にでもなれば300年祭の開催もできなくなるわけで、開催か否かで地域経済への影響は大きなものがある。
どちらかといえ ば影響がある	家計	東青	娯楽業	3回目のコロナウイルス感染症ワクチン接種が済んで万が一感染しても投薬治療で済むようになるまでは影響あると思います。
			家電量販店	感染状況は都道府県ごとに差はありますが、収束傾向にある地域もあります。コロナ禍で中止していたイベントを今年度から再開する自治体も多く、感染対策は実施しつつもイベントごとを通じた経済活動は活発になっていくと予測されます。
			衣料専門店	各種報道から、公共施設の開放、各種イベントの開催方向、各種式典・会合の開催、観光刺激策、市プレミアム商品券発行などなど行動規制が緩むことから消費が拡大する。
			住宅建設販売	来場数・商談数が、コロナの影響で減少している。顧客の感染・濃厚接触者により、商談の先延ばしも増加している。コロナにより、建材・資材の納期遅延の未解消。
			乗用車販売	コロナが減り人の動きが活発化される為。
	津軽	乗用車販売	今後、コロナの終息の目途がつかずこの状況が続きそうである	
		美容院	ゴールデンウィーク明けの第7波が必ず来ると思うから。	
		住宅建設販売	現状の見込みに変化はないと思うから。	
		ガソリンスタンド	第7波の感染拡大が予想されまったく予想がつかず、大なり小なりの影響があると思料する。	
		商店街	さくらまつりの会場に近いので、人が流れてくる可能性がある。	
		家電量販店	コロナの感染者数の減少が鈍い中、国内の地震（災害）・ロシア・ウクライナ戦争と不安な要素が重なる。3ヶ月先の景気は、コロナ感染症も含めた他の要因との絡まりが、この先大きく影響していくと考える。	
	県南	設計事務所	良くなるという要素が少ない。	
		コンビニ	日々のコロナ感染者を見ていると影響はある。	
		一般飲食店	今の現状だとコロナについては油断ができない状態ではとおもわれま す。それにまして、諸物価の上昇には参ってしまう。コロナ、物価上昇 悩みの種です。	
		美容院	何ととっても流行が収まること。外出しやすい季節になって来たこと。	
		住宅建設販売	コロナに感染する人が身近でも出始め、行動範囲を狭くしている人が多 くなったと思われます。	

今後の影響	分野	地区	業種	理由
どちらかといえ ば影響がある	家計	県南	家電量販店	現状では治療薬がない為、ワクチン接種を最優先し感染防止に努める。
		下北	一般飲食店	はっきりとコロナ回復という言葉でしめさないかぎりダラダラと長い時間になりそうです。
			タクシー	従業員が気を付けていてもお客様が不特定多数なので毎日リスクが高く、高齢の乗務員が多いので、二次感染が怖い。PCR検査も抗原検査のように30分ぐらいで結果がわかるようだと安心して帰宅できるのに…と思う。会食の仕方も工夫できないものか、飲食の前に検査をするとか…
	企業	東青	食料品製造	感染人数が増えたまま、イベントがはじまりつつある。期待もあるが、消毒をしなくなった買い物客に恐怖も感じます。
		津軽	食料品製造	先行きが見通せない。コロナによる余分な出費等景気にも悪影響を及ぼしている。
		県南	広告・デザイン	コロナ禍の中で、生き延びて来た企業、商店も、この2年で売上が激減。資金繰りも色々と実行して来たが、その煽りが徐々に来ている。しばらくは厳しい状況になる。さらにロシアの戦争による経済的影響が拍車をかけている。
			紙・パルプ製造	第7波への不安、またそれに伴う景気回復の鈍化。
			食料品製造	自粛ムードの継続。
			電気機械製造	出張に往き来しづらい世の中になった。ウイルスの変異に合わせて適切に経済と見合う規制にしていけないと悪影響がふえるばかり。
		下北	食料品製造	恐らく、花見シーズンを迎え、それなりに人は動くでしょうが、その後がまたこわい。
	雇用	県南	新聞求人広告	一旦、収束すると思うがGW明けまた感染拡大が予想されるため。
どちらとも言え ない	家計	東青	設計事務所	そろそろ行動範囲の枠を超えて少しずつでも各々の判断で広げて活動しようという兆しが見受けられるのでその動向を期待したい。
			美容院	感染者が減らないかぎり無理だと思います。
		県南	観光名所等	どちらかといえば、天候に左右されやすい直売所なので、コロナ感染症の影響があるか、不明のため。
	下北	百貨店・スーパー	コロナワクチン接種の増加により外出が増える傾向にあるが蔓延規模の拡大等まだまだ不安定。	
		ガソリンスタンド	今後の感染者の増減で良くなるのか、悪くなるのか…。	
	企業	東青	広告・デザイン	新型コロナウイルス感染症拡大が落ち着かないが、ウィズコロナで経済を回し始めたため。
			建設	コロナに加えてロシア問題がエネルギー、資材調達に大きな影響をもたらすでしょう。
雇用	津軽	人材派遣	やはり鍵を握るのは新型コロナ感染者数の動向。感染者数の高い状態で横ばい状態が続いている。	
どちらかといえ ば影響がない	家計	津軽	設計事務所	感染力は強いが比較的症状が軽いオミクロンに対しては2年前のコロナよりかなり警戒心が薄くなっている気がします。老人福祉施設等は別としてその他に関しては建築等の計画を実施すると思います。